

# 総合体験学習

平成17年に森林組合法が一部改定され、森林組合の機能の強化内容のひとつとして「森林環境教育事業の追加」が加えられました。当組合では以前より管轄地域の小中学校の生徒の林業体験や森林学習に積極的に協力し、森林環境教育の実施に取り組んでいます。

ここでは、平成16年度に大宮小学校4年生18名を対象に約半年を通じて実施された「森林・林業を体験して総合的に学習する体験学習」を紹介します。

**1回目** は35℃の猛暑の7月に実施されました。スギ・ヒノキもわからない児童が大半だったので、まず、森林とはどういうものなのかを知ってもらうため、滝原地内にある岩内山生活環境保全林内(町有林)を散策しました。身近な樹木の種類の見分け方や森林の持つ大切な働きを勉強し、あらためて森の中の温度の低さに驚いた様子でした。



**第2回** は9月に、林業の作業のひとつである間伐を体験してもらいました。小学校の裏山で約20年生のヒノキをのこぎりで伐倒し、その木の皮をはぎ、最後には補助員付きですがチェーンソーで丸太が切れる感覚を味わってもらいました。



11月には小学校で行われた文化祭に招待され、学習発表として間伐材を利用したオブジェを見せて頂きました。準備されたパーツからではなく、自分の手で伐採した木を使い、のこぎりで形を取り、みんなで作り上げていくという繋がりのある学習へと役立ててくれたことに教育の広がりを感じることができました。



間伐材を利用した「クモの巣」のオブジェ

間伐を行なうことは良い木を作るためだけでなく、山林が水を絶え間なく注ぎ、洪水などの災害を防ぐという、公益的機能を十分に発揮するために非常に大切な作業であることを勉強しました。



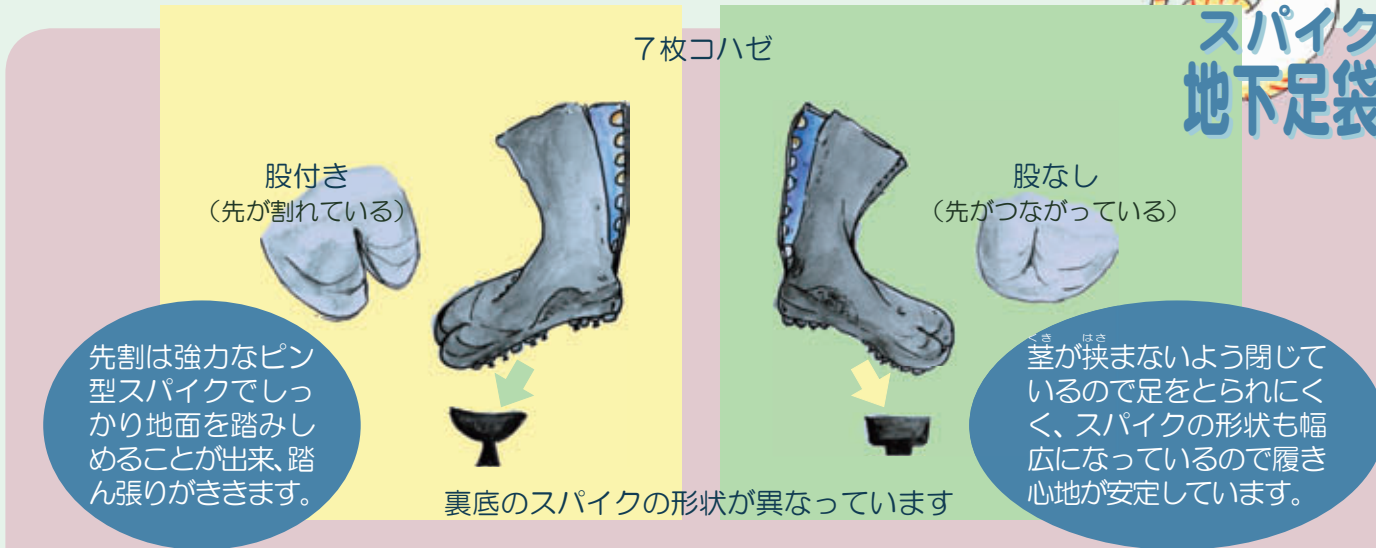
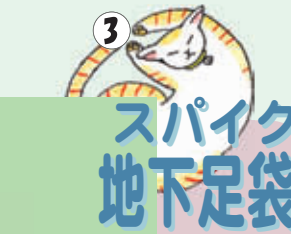
次ページへ続く⇒



全3回の体験学習や学校訪問を通して、小学生達のさまざまな質問・疑問に答えたり一緒に考える内に、逆に考え直すことや新しい事柄を発見することができ、担当した自分自身にとっても得るものが多い総合体験学習となりました。

**第3回** は11月に、当組合の水野副組合長の協力で現在では珍しくなった炭焼きをしました。ドラム缶を利用した特殊な炭窯で、竹割りから窯入れ、火付け等煙と闘いながら手順を教わり、今まで知らなかった炭が出来るまでの苦勞を実感しました。

環境先進国として知られているスウェーデンなどでは、森林教育や森林環境の提供等、将来を見越した持続可能な森林経営についての普及教育に非常に力を注いでいます。我国はこのような取組みに対してはすいぶん出遅れているといえるでしょう。当組合では本年度も7月に小学校の教師を対象に2日間の林業研修を行なう等、今後も学校教育の場はもちろん、森林所有者などからのさまざまなニーズにも対応しながら森林環境教育への取組みの機会を増やし、地域の林業の活性化につながればと考えています。



今回の購買品紹介は、当組合の作業員の多くが使用している「スパイク地下足袋」です。スパイク付きの地下足袋は7枚コハゼなので足首をしっかりサポートし、山間部などの傾斜地での足場を安定させ、作業の効率もアップさせることができます。2種類を取扱っていて、左図のように「親指と他の指が分かれている」タイプと、右図のように「指先が閉じている」タイプがあります。また、この他にも雨天や残雪地などの作業に適している防水スパイク地下足袋(注文発注)も取扱っていますのでご利用ください。

## 賦課金の廃止報告

第14回通常総代会の終了報告でもお知らせしたとおり、平成17年度より賦課金を廃止させて頂きます。長期にわたる納付にご協力頂き、ありがとうございました。



## 編集後記

「あなたの好きな木は何ですか」と質問されたことがありますが、好きな木、好きな花は答えられても、「木」と言われるとなかなか即答できないですね。クワガタを探し回ったシイノキ、木登りをしたイチョウ、花びらを追いかけて遊んだサクラ… たくさんのお木から思い出をもらって育てているのに何となく寂しい話です。あなたは思い付きませんか。

## 第22号

# 大紀森林組合だより

平成17年9月



表紙 中谷よう子さん

## もくじ

森林管理事業・補助事業	1・2
地区懇談会の報告・職員紹介	3
大宮小学校総合体験学習	4・5
購買紹介	5

三重県度会郡大紀町崎 239-2

TEL. 0598-74-0224  
FAX. 0598-74-0379

業務 E・Male daikisin@ma.mctv.ne.jp  
総務 E・Male daikisom@ma.mctv.ne.jp

# 新しい 森林管理事業



## ● 事業の目的

林業の不振が叫ばれ続ける今日、山林を放棄する人も増えてきています。世代が代わってしまえば山の場所が分からず、荒廃はいつそう進むと予想されます。今のうちにペンキによって境界を明確にし、実測図面を作成、保管する。そして、適正に間伐等の整備をする事はとても重要なことです。

森林には雨水を地下水として蓄える働き、大気を浄化し、酸素を供給する働きなど、多くの機能があります。その機能を十分に発揮させるためにも意味ある事なのです。

現在は山に興味がない、また、町外に居る事で山に接する機会がない、そういう後継者の頭の片隅に、境界の入った適正に管理された山の状況が少しでも残れば、山離れによる森林の荒廃がわずかながらでもくい止められるような気がします。

CO<sub>2</sub>削減も含めた環境問題が取りざたされている今日、後世に豊かな森林資源、豊かな森林環境を残し、大紀地域の森林を健全なものに育成していくためにも、まずやらなければならない事が森林管理を手がけていく事なのです。次の世代のためにも是非この森林管理事業を活用して頂きたいと思ひます。

(業務課 太田秀明)

## 事業費内訳

委託事業地面積	1ha当り (約1町)
測量及び製図費	21,000円
境界表示費	10,500円
事務雑費	5,250円
境界杭設置費	作業費 実費
	杭代 実費
計	36,750円

上記金額は1ヶ所についての基本料金です。

## ● 事業の内容

### 現地作業

ペンキによる境界表示  
 現地の測量  
 現況写真の撮影

### 事務作業

測量図面の製図  
 総括位置図の作成  
 森林管理台帳の作成  
 台帳の相互保存



## 事業完了後

- 森林管理台帳を相互で長期保存します。
- 台帳をもとに適正な森林整備の提案及びご相談をお受けします。
- 台風等の被害に遭われた時も同様ににご相談をお受けします。

## 造林補助事業

生産林では平成18年度造林補助事業の申請を受け付けています。下記の計画がある方は、平成17年度11月末までに申込んで下さい。(面積:0.1ha以上)

	植付け	下刈り	枝打ち	間伐
採択条件	2,000本/ha以上	林齢1～5年生 植栽本数5000本/ha 未達は1～8年生	林齢11～30年生 成立本数の70%以上施業 国が定めた地域のみ	林齢11～60年生 間伐20%以上 国が定めた地域のみ
事業内容	再造林のみ	スギ、ヒノキ、マツ、クヌギ等	スギ、ヒノキ	スギ、ヒノキ

## 平成17年度 大紀森林組合地区懇談会結果報告

平成17年7月4～6日の三日間、大紀町の3地区において地区懇談会を開催しました。延べ81名の組合員に参加を頂き、当組合からの事業説明に加え、厳しい林業情勢や今後の森林組合の方向性、国・県への要望等、多岐にわたるご意見をいただきました。お忙しい中ありがとうございました。以下に一部ですが質疑応答を掲載いたします。



- Q. 砂防堰堤は今後も造っていくのか、それとも、森林整備によって山林を保全していく方向なのか？  
 A. 地域の事情により堰堤の必要な所もありますが、それ以外は出来るだけ森林整備により治山治水の機能を発揮させる方向で進んでいます。
- Q. 奥山の50～60年生の立木を伐採しようと思っても買ってくれる業者がない。組合は買ってくれるのか？  
 A. 組合では林産見積りを行っています。通常は、市場価格と伐出経費を算出し採算が合えば買い取りをさせていただきます。又、奥山であっても地形の状況次第で作業道開設と機械化により伐出経費を削減することもできますので、一度事務所に御相談ください。
- Q. 環境創造事業での20年間管理委託というのは、所有権の移動及び予算措置について不安である。  
 A. 環境林では、測量図面の作成及び境界入れ、巡視等を行い、適切な間伐により針広混交林化を図り、20年後にお返しします。但し、世代交代等による所有権の移動は可能で、事業費は総て国・県・町の予算で対応させて頂くことになっています。
- Q. 若者の雇用は、現在の林業情勢では生活の安定が確保されず林業の仕事に就かせるのは難しい。  
 A. 行政の支援による仕事の確保や、職場における作業員育成の環境づくりが必要です。
- Q. 森林組合は現業職員に資格等は取得させているのか。  
 A. 伐木等の業務にかかる特別教育、刈払機取扱作業員安全衛生教育を始め、高度な技術の習得と高い生産性に向けて必要な資格を取得させています。
- Q. 間伐事業の60年生(地域指定あり)までという採択林齢は、長伐期化する現状にあっていないのではないのか。補助対象事業に係る林齢の制限を無くすよう県に要望してもらいたい。  
 A. 県には間伐事業と共に作業道についても要望していきます。
- Q. 昔は山の境界は矢立てで屋号を入れていたが、最近はペンキの印だけになっているので判別がつきにくい。何かいい方法はないのか？  
 A. 今後はペンキで印を入れ、名前若しくは屋号も記入して頂くよう指導していきたい。
- Q. 発展途上国へODA(政府開発援助)の代わりに、国産材をプレカット加工し、住宅援助する案はどうか？行政に要望して下さい。  
 A. 要望します。

## 職員紹介

大紀森林組合の職員として、平成14年11月からお世話になっています。大内山地区の造林補助事業、環境創造事業等を中心に担当させて頂いています。もうすぐ丸3年になるつもりですが、まだ未熟で林業の知識も少ないですが一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。  
 (藤本直樹・㊦)



業務課で旧大宮地区の間伐、造林を担当している滝原出身の古窪晃好です。大紀森林組合でお世話になって1年5ヶ月、知識も少なく、山に関してはまだまだ素人ですが、少しでも早く仕事を覚えるよう頑張っていきますので、ご指導宜しくお願ひします。  
 (古窪晃好・㊦)

